



SHIBETSU

1 広報

2018(平成30年) Vol.611

海・山・川・大平原がおりなす 感動の大地・しべつ標津町

プロ野球選手はやっぱりすごい!

町体育協会(今野千昭会長)主催の日ハム少年野球教室が、12月9日、総合体育館で行われ、町内野球チームに所属する小中学生32人が参加しました。

本教室で招いた「日本ハムファイターズ・ベースボールアカデミー」は、夢を実現した元プロ野球選手が野球技術はもちろんのこと、夢への挑戦や目標へ一生懸命に向かう姿勢などを子どもたちへ伝える活動を展開しており、来町は5回目。

当日は、牧谷宇佐美コーチと市川卓コーチの2人と、ベースの踏み方やボールの持ち方などの基礎練習を再確認したほか、練習に対する心構えなどのメンタル面も教わりました。参加した少年らは、コーチの指導を少しも漏らさず身に付けようと、熱心に取り組んでいました。

また、前日8日には、日本ハムファイターズ標津町後援会(今野千昭会長)による選手交流事業が開かれ、現役投手の浦野博司さんが来町。2日間にわたって本町は、ファイターズの熱気で溢れました。



the most beautiful
villages
in japan

へはじめに

町民の皆さま 新年あけましておめでとございませう。

希望に満ちた新春を皆さまとともに迎えたいと思っております。また、地震や台風など近年猛威を増す自然災害に加え、北朝鮮弾道ミサイルの脅威により、国民生活は不安の渦中に置かれました。

また、昨年は任期満了による標津町長選挙におきまして、町民の皆さまをはじめ関係各位の力強いご支援と心温まるご厚情により無投票当選の栄に浴し、引き続き四期目の町政を担わせていただきまして、深く感謝を申し上げます。

〈昨年を振り返って〉

さて、昨年を振り返ってみますと、国政においては、9月の第3次安倍改造内閣

発足後間もなく衆議院の解散選挙が行われるなど大きな動きがあった一年でありましたし、また、地震や

台風など近年猛威を増す自然災害に加え、北朝鮮弾道ミサイルの脅威により、国民生活は不安の渦中に置かれました。

北方領土問題につきましては、日口の共同経済活動に向けてスタートが切られましたことから、今後にその成果を期待したいと思っております。

このように、国内外の大きなうねりに翻弄された一年でもありましたが、本町におきましては大きな災禍に見舞われることなく推移したことに安堵しております。

―基幹産業―

基幹産業の状況でありませんが、秋サケ漁は、当初予想を大きく下回る、対前年比32%減の2,017トンの水揚げに留まり、統計が残っている昭和45年以降で最も少ない水揚量となり、極めて深刻な結果となったほか、ホタテ漁につきましても、当初の生産計画を下回るなど、水産加工業や運輸など関連産業へも大きな影響がありました。酪農業につきましては、

牧草の順調な生育により品質の高い自給飼料が確保されました。

生乳生産量につきましては、今年度目標である10万トン達成できる見込みとなり、販売額につきましても、生乳生産量の増加や乳価の上昇などから、順調に推移しております。

しかしながら、輸入家畜飼料等の価格につきましては、円安の影響により高止

「年頭所感」



標津町長 金澤 瑛

台に、スポーツ・文化活動において大いに活躍をいただき、取り分け、標津高等学校吹奏楽部が全国大会に出場し最高賞を受賞するなど、大きな成果を挙げた明るい話題もあり、町に感動を与えていただきました。

また、漁業や農業、商工業など、各分野の町民有志が、町の資源を活用してまちづくりに資する取り組みを活発に行っていたなど、町に元気をもたらしていただきました。

〈まちづくり〉

まちづくりにおきましては、「人口減少時代に挑戦する政策パッケージ」の各事業について、検証を行いながら積極的に押し進めるとともに、「活気に満ちた産業・経済のまち」、「笑顔あふれ思いやりのあるまち」、「安心して快適に暮らせるまち」をめざし、各世代がいっききとまちづくりに参加できるよう協働を一層推進する中で、基幹産業の安定化はもとより、暮らしやすい生活環境の創出に向けて、町民の皆さまのご理解とご協力をいただきな

がら、町民の皆さまとともに懸命に取り組んでいく所存であります。

〈新しい年を迎えて〉

迎えた新年は、厳しい状況下にある基幹産業と住民生活の安定が、一刻の猶予を待たない喫緊の課題でありますし、人口減少対策や少子高齢化対策など、引き続き多くの課題に取り組んでいかなければなりません。大変な時期にありましても、一つひとつかかる困難を打開し、夢と希望の持てる未来を展望していくことが大切だと考えております。

新年度の予算編成にあたりましては、議会と十分に協議しながら、これら課題解決に向けた予算を計上し、時期を逸しない政策展開を図ってまいりたいと考えておりますので、皆さまの特段のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

〈おわりに〉

最後に、町民の皆さまにとりまして本年が最良の年でありますよう心からお祈り申し上げますとともに、所信の一端を申し上げ、新春のごあいさつといたします。



謹んで新春のご申



新年あけましておめでと
うございます。

平成30年の年頭にあたり、議会を代表いたしまして謹んでごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から私ども町議会の活動に對しまして、温かいご理解と格別のご支援を賜り、議員一同心から厚くお礼申し上げます。

例年のことながら迎える年が平穩で事件や事故、災害のない、景気が安定し安心した毎日が送れることを皆さまとともに念願しております。

昨年を振り返りますと、中々進展しない北方領土問題をはじめ中国との尖閣諸島の主権の問題、日本・韓

国・北朝鮮の3カ国が領有権を主張する竹島問題など、日本の領土をめぐる争いが持ち上がっております。

その中で、昨年6月に日ロ共同経済活動の具体化に向けた初の官民調査団が国後、択捉など3島を訪問し、漁業や観光、医療などの関連施設を視察しており、今後の進展に期待しているところであります。

また、9月には元島民らが中標津空港から初めて航空機で国後、択捉両島に参し、悪天候で日帰りはできませんでしたが、今年も継続される見通しと聞いております。

しかしながら、今日、外交交渉の長期化が避けられない中であつて、高齢化による元島民の減少傾向が顕著であるとともに、残念ながら北方領土問題に対する国民の認識も未だ薄いと

いった現実があります。こつした中、より一層の運動拡大と国民世論の高揚を図ることを目的に、昨年12月、東京都内で「アピール行進」、「政府要請行動」

等を実施しており、今後の進展に大きく期待するものです。

一方、地球の自然環境も年を追うごとに大きく変化しており、世界各地で異常な気象現象が増加し、人為的環境による温暖化が地球規模で異変を起し、便利で豊かな文明社会が築いた過度な生活環境の恩恵に警鐘を鳴らしているものと思われま

す。道内では、一昨年に約2週間のうちに3つの台風が上陸し、北海道有史以来の

「年頭のごあいさつ」



津町議会議長
田中孝幸

「災計画」を実践するほか、避難道路や防雪柵の整備を進めており、有事の際の防災対策に万全を期しているところであります。

次に、基幹産業でありま

すが、酪農業においては生乳・個体販売、牧草など全体的に良好に推移しました。

しかしながら、農業生産資材価格は高止まりとなつており、厳しい経営を強い

られております。今後、FTA大筋合意の影響、乳価、牛肉価格の下落の懸念など将来に対する不安が増して

おります。また、農業後継者問題、長時間労働・労働力不足などの課題を抱えており、その対策が急務となつております。

一方、水産業につきましては、秋サケ漁が平成20年から不漁が続いており、昨年も2千トン台という大変深刻な結果となりました。漁業者はもとより漁業従事者や水産加工場をはじめとする関連業種の影響も心配され、将来に対する不安

が一層増しております。今年こそ基幹産業である酪農業、漁業ともに経営が安定した年となり、地域経済や景気の回復を心から願つたのであります。

また、議会としましては昨年5月に任期半ばの2年が経過し、各委員の再編を行い新しいスタートを切つたところでございます。さらには5月23日に町長選が執行され、それに合わせて1人の欠員が生じておりました議会議員の補欠選挙が行われ、結果、無投票で現在10人で頑張っております。

このように、目まぐるしく変容する社会情勢の中、本町においても人口減少問題や福祉・医療・環境対策など取り組むべき課題は山積みしておりますが、この課題を一つずつ解決し町民の皆さまとともに明るく住みよいまちづくりをめざして行く所存でございます。

結びに、町民の皆さまにとりまして、本年が輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたしま

平成29年度 町表彰式

郷土の発展に貢献 功績をたたえて!!



本町における自治・経済・福祉・教育文化など各分野で町の振興発展に貢献のあった方、他の模範になつていらっしゃる功績をたたえる「平成29年度標津町表彰式」が、12月7日、生涯学習センターあすばるで行われました。

式典では、初めに参会者全員で国・町歌斉唱と、本町の礎を築いた先人に対し黙とうが行われ、金澤町長が「本日表彰を受けられる皆さまのご功績は、等しく町民の模範とされるものであり、あらためて衷心より感謝申し上げます」と式辞を述べました。

その後、奨励賞1人、善行賞2人、感謝状贈呈1団体の方々の功績と受賞内容が紹介され、金澤町長から表彰状と記念品、感謝状が手渡されました。

祝辞では、中田根室振興局長、田中町議会議長が受賞者の功労をねぎらった後、受賞者を代表して五十嵐賢さんが「これからもそれぞれの分野で課せられた役割りに邁進したい」と謝辞を述べました。

本年度の表彰を受賞された方々の功績などを紹介します。

自治活動奨励賞

梅木 勝美さん
(67歳・薫別)



平成10年から平成28年までの19年間の永きにわたり、町内会長として町内会活動を積極的に推進し、地域の自治会組織の育成強化、地域福祉の向上に多大な貢献をされました。

善行賞

五十嵐 賢さん
(72歳・弥栄町)



標津町交通安全指導員として、昭和60年から現在まで32年間の永きにわたり、地域における交通安全活動や

各期別運動の街頭啓発などに積極的

に参加され、交通安全思想の普及啓発活動に多大な貢献をされています。



藤谷 辰夫さん
(77歳・桜ヶ丘町)



平成18年から現在まで10年有余の永きにわたり、地域において主に道路の環境美化活動を積極的に実践され、その傍ら道行く車両にあいさつをされるなど、交通安全や「あいさつ運動」などにも寄与され、



その善行は他の模範として高く評価されています。

※毎年、被表彰者選考委員会において、表彰される方々を選考していますが、表彰を望まない方の善行（ごみ拾いやボランティアなど）について、同委員会において敬意が表されています。

町税の納期限内 完納者ご紹介

平成28年度まで、町税を納期限内に完納された方々をご紹介します。

※【 】は地区名、敬称略

◆50年間完納者（6人）

- 【川北】
 - ▽阿部 隆雄
 - ▽渡邊 厚
- 【東川北】
 - ▽滝本 新一
- 【住吉町】
 - ▽本村 彰子
 - ▽本村 統一
- 【伊茶仁】
 - ▽古川 富枝

◆40年間完納者（17人）

- 【標津】
 - ▽笠井 昭義
 - ▽佐々木 早苗
 - ▽佐藤 正雄
- 【川北】
 - ▽佐藤 強
- 【住吉町】
 - ▽小野 瀨千秋
- 【東浜町】
 - ▽金田 文字
- ▽室谷 弘幸
- 【伊茶仁】
 - ▽伊藤 歳男
 - ▽若杉 義美
- 【薫別】
 - ▽工藤 正幸

◆30年間完納者（38人）

- 【標津】
 - ▽朝熊 康
 - ▽亀田 司
 - ▽坂井 建夫
 - ▽新川 英憲
 - ▽田邊 俊子
 - ▽中野 福代
 - ▽野口 信
 - ▽米持 仁志
- ▽岡部 トシ工
- ▽酒井 紘一
- ▽佐々木 健一
- ▽關 エミ子
- ▽永井 利美
- ▽中野 美智子
- ▽松下 不二夫

川北

- ▽阿部 正喜
- ▽榎本 紀子
- ▽渡部 衛
- 【東川北】
 - ▽中村 清憲
- 【南川北】
 - ▽大屋 絹子
- 【西北標津】
 - ▽田中 陽一
- 【東茶志骨】
 - ▽大石 友枝
- 【住吉町】
 - ▽遠藤 日出夫
- 【忠類】
 - ▽音川 真人
- 【薫別】
 - ▽工藤 和久
- 【新古多糠】
 - ▽赤石 正男
- 【上古多糠】
 - ▽竹村 慶子
- 【東古多糠】
 - ▽須田 良紀
- 【南古多糠】
 - ▽田村 春江

◆20年間完納者（27人）

- 【標津】
 - ▽五十嵐 友子
 - ▽小林 昭雄
 - ▽杉山 昌人
 - ▽西本 祐幸
 - ▽山崎 敦
- 【川北】
 - ▽植田 晃己
 - ▽門脇 博
 - ▽川手 晶裕
 - ▽今野 正広
 - ▽角田 川秀樹
 - ▽野口 正代志
- 【南川北】
 - ▽小山内 ほるみ
- 【西川北】
 - ▽加藤 美紀子
- 【茶志骨】
 - ▽勾坂 小百合
- 【茶志骨パイロット】
 - ▽相馬 正幸
- 【伊茶仁】
 - ▽本間 廣徳
- 【忠類】
 - ▽村元 秀子
- 【西古多糠】
 - ▽竹内 陽子

平成29年度 税に関する作品表彰

町租税教育推進協議会では、各学校を対象に書道や絵はがきなどを募集し、次の児童・生徒が表彰されました。

※敬称略

【書道】

- 標津町長賞
 - ▽小川 文太（川北小6年）
- 根室税務署管内
 - 青色申告会連合会会長賞
 - ▽石井 就士（川北小6年）
 - 根室間税会会長賞
 - ▽音川 藍慈（標津小6年）

【絵はがき】

- 優秀賞
 - ▽山田 凌大（標津小4年）

【標語】

- 北海道間税会連合会会長賞
 - ▽古市 日向花（標津中1年）
 - ▽渡部 佑菜（標津中1年）
 - ▽佐々木 心晴（標津中1年）
 - ▽久保田 将吾（標津中1年）
- 磯谷 蓮（標津中1年）

【作文】

- 根室税務署長賞
 - ▽加藤 優奈（標津高1年）

後期高齢者医療制度のお知らせ

～ 高額介護合算療養費および医療費通知について ～

* 後期高齢者：75歳以上の方・65歳以上の一定の障がい状態にある方が対象です *

■ 高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度および介護保険から支給されます。

なお、手続きには住民生活課医療給付担当窓口への申請が必要です。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円以下の場合には支給されません。

◆ 自己負担限度額表

【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区 分	自己負担額の合計の基準額	
3割	現役並み所得者	67万円	
1割	一 般	56万円	
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ(※1)	31万円
		区分Ⅰ(※2)	19万円

※1 世帯全員が住民税非課税である方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円(公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下)、または老齢福祉年金を受給している方

申請される方は、住民生活課医療給付担当へお申し出ください。

■ 医療費通知を全受診者へ送付します

広域連合では、医療費総額などについてお知らせする「医療費通知」を、対象期間に医療機関などを受診した全ての被保険者の皆さまへ送付します。

発送日は、9月下旬と3月下旬の年2回です。

【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関等	診療区分	日数	医療費総額	自己負担額
H29年1月	〇〇病院	医科外来	1	18,000	1,800
H29年2月	××薬局	調剤	1	10,000	1,000
合 計				28,000	2,800

※確定申告(医療費控除)の際の証明としては使用できません。

※この通知は受診状況をお知らせするもので、請求書ではありません。

◆ 医療費通知の活用について

- 医療費の推移が一目で分かるため、ご自身の健康状態の把握や健康管理に活用できます。
- 健康診査など、健康保持・増進に役立つ情報をお知らせします。
- 診療日数などに間違いがないか確認しましょう。

問合せ先 北海道後期高齢者医療広域連合 011-290-5601
住民生活課 医療給付担当 082-2131(内線130、134、136)

標津町の近未来について語る 若手有志が町長を囲んで交流!



真剣な面持ちで説明を聞く参加者

SK研究会(出口亮会長)主催の「若手有志の会」金澤町長を囲んでが、11月24日、ホテル川畑で開かれました。

この会合は、年に一度、町内各産業の若手有志が本町の将来や振興などについて町長を囲み語り合うもので、今年で6回目。同研究会会員のみなならず、漁業や商業、金融業など、幅広い業種から40人が参加しました。

来賓の金澤町長は、「まちづくりは大変苦戦している。これからが踏ん張りどころであり、若い皆さんの思いや知恵などをぜひ聞かせてほしい」と期待を寄せ、続いて話題提供として吉田企画政策課長が、「標津町の政策」について説明しました。参加者は、まちの課題などについて意見を交わし、今後につながる有意義な交流を図りました。

生産者が町民の食卓へ贈り物



積み込みする町内会役員ら

標津漁業協同組合漁船漁業者部会(平井敏雄部会長)と標津町農業協同組合(今井和善代表理事組合長)では、12月4日、生産者を除いた約2,300世帯に、朝獲りした活ホタテ2kg相当とバターを2箱(400g)ずつ、各町内会の協力を得て配布しました。

この取り組みは、資源保護や生産活動への町民の深い理解に対し、両者が感謝の意を含め毎年行っているもので、今回でホタテは25回目、バターは28回目。

今年はホタテの漁獲量減少による価格の高騰と、バターの品薄状態が深刻化しています。そのような大変厳しい状況下にも関わらず、無償で提供くださるご厚意に心から感謝します。

ペタン!ペタン! こども園で防火もちつき大会



一生懸命もちをつくクラブ員

標津認定こども園あおぞら(大木敏道園長・園児126人)の4歳・5歳児で結成する幼年消防クラブは、12月6日、標津消防署職員や保護者を招いて、防火に対する意識向上と日本の伝統文化を味わってもらおうと「防火もちつき大会」を開きました。

大会では、消防職員から日頃の防火協力へのお礼や、避難の合言葉「おかしも」を再認識するよう呼びかけがあったほか、園児がもちつきの歌を披露。みんな協力して作ったあんこもちを、おいしそうに頬張っていました。

8日には、川北認定こども園にじいろの幼年消防クラブでも同大会を開催。町内の子どもたちへ、昔ながらの日本文化の継承と防火への意識啓発が行われました。

元消防団副団長の菅原さんが 瑞宝単光章の荣誉に輝く



受章された菅原さん(中央)

秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した菅原清継さん(本町)への伝達式が、12月12日、中標津町で行われ、中田根室振興局長から勲記と勲章が手渡されました。

菅原さんは、昭和45年に標津消防団に入団。以来44年余の永きにわたって、豊店を営みながら地域住民の生活安全確保のため消防団活動に尽力されました。

この間、分団長を経て、平成21年から6年間副団長に就任し、卓越した指導力で幾多の災害現場に出動。その経験から培われた豊富な知識を生かし、組織の整備充実、団員の育成指導や技術向上に尽力され、地域の防災と消防団の発展に多大な貢献をされました。

標津町の文化財

～地域の基層へ誘う先人の足跡～

第8回 幕末会津藩北辺防衛の物語③

●南摩綱紀が行った

異文化理解の取り組み

今月号では、蝦夷地に派遣された当時の、会津藩士南摩綱紀と現地のアイヌの人々との交流にまつわるエピソードを紹介します。

11月号でも紹介したとおり、南摩綱紀は蝦夷地に派遣される以前から、幕末の探検家松浦武四郎と交流する中で、当時としては先見的な、異文化を理解する心を育んだ人物でした。蝦夷地で出会ったアイヌの人々に対しても、歩んだ歴史の違いからくる文化の違いを正しく把握しており、互いに理解し合うためには、それぞれの価値観の違いを知ることがまず重要と考えました。

異文化の溝を埋めるために南摩が行ったのは、和人の価値観をアイヌ語を用いて伝える教育活動でした。別海町郷土資料館が所蔵する加賀家文書の中に、南摩が使用したアイヌ語の教書が残されています。当時、武家を中心とした子弟たちが、道徳教育のために使用していた『五倫名義』と呼ばれる教書に、カ

タカナでアイヌ語の訳が付記されています。南摩はこの教書を持って、蝦夷地の会津藩領を巡り、各地のアイヌたちに和人の価値観を伝えて回ったと考えられています。

会津藩領となる以前、蝦夷地が松前藩の管轄であった時代、

松前藩はアイヌの人々を「禽獣の類」とし、人として見ていませんでした。また会津藩が去った後の明治時代以降も、開拓使や明治政府がとったアイヌ政策は、アイヌの人々を「文化の遅れた人々」とみなし、和人の文化を一方的に強制する政策が行われていました。こうした前後の時代と比べると、会津藩領時代に南摩が行った取り組みが、いかに人道的な手順で進められたかがよく分かります。

旧会津藩士の水島純という人物が、蝦夷地在勤中の南摩の事績について記した記録があります。それによると、会津藩領となった蝦夷地の民政を南摩が代官として管轄するに当たり、まず心がけていたことは、「視民如傷(民を視るごとく傷めるが如し)」という四字熟語に象徴される姿勢であったといえます。こ

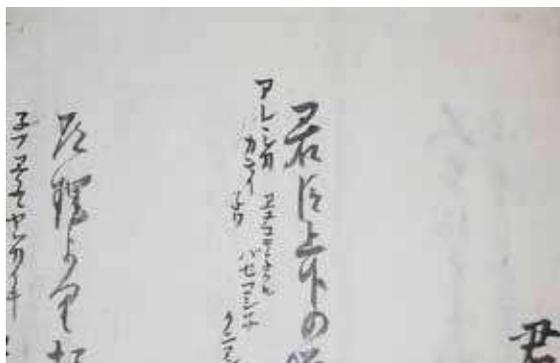


写真1 アイヌ語の教書

(別海町郷土資料館所蔵)

江戸時代に和人の道徳の教書として用いられていた『五倫名義』の本文横に、カタカナでアイヌ語の読みが記されています。南摩はこのアイヌ語の教書を持って、領内を回っていました。

れは「傷ついた人を哀れむように人民をいたわった」という周の文王の徳を表現した言葉で、『孟子』の中に出典があります。南摩はこの四字熟語を書き記し、標津のアイヌの人々は南摩の高徳を慕い、その南摩の書を額に入れ、現在の福住総本店の場所にあった漁場の会所に掲げていたというのです。松浦武四郎と同様、南摩綱紀もアイヌとの理解を深めた人物の一人であったことを知るエピソードです。

旧会津藩士水島は、明治35年の時点で、アイヌからこの話を聞いたと述べています。標津市街は明治37年に大火に見舞われているため、南摩の書が収められた額も、この時に失われたと考えられます。

●文明開化とアイヌ文化

南摩とアイヌとの交流は、一方的に和人の側の文化を伝えるだけではありませんでした。南摩自身もアイヌの人々の中に、人としての正しさを感じ取っていたことを知る、一つのエピソードが残されています。

明治23年に南摩が発表した文章に、『文明の説』というタイトルのコラムがあります。当時、子どもまで盛んに口にして沸いていた「文明」という言葉について、その語義を明らかにし、真の文明の姿を考察したものです。

南摩はこのコラムの中で、西欧から伝わった機械や工芸、外来語に浮かれた当時の浅薄な文明開化を痛烈に批判し、安易に外来文化を受け入れる前に、日本人としての道徳的正しさや風俗の純朴さが、その基盤として大切だと訴えます。そして、その正しく純朴な姿として例示しているのが、蝦夷地在勤中に会ったアイヌの人々の風俗、人情なのです。南摩は、蝦夷地で出会ったアイヌの人々は、和人の価値観からすると一見「奇異」で「野蛮」に見える風俗であるけれども、その行為の本質には人間として大いに感じることがあると触れています。

当時、明治維新後の文明開化の実態を批判した人物は南摩の他にも数多くいましたが、その文明批判として、アイヌの純朴さ、人としての正しさこそ、顧みる価値があると論じたのは南

摩一人でした。

●南摩網紀のその後

南摩の蝦夷地代官としての任期は、慶応3年（1867年）まででした。任期満了後、南摩は当時苦境にあった藩主のいる京都へと急行します。そして会津藩を滅亡へと導く

戊辰戦争が始まり、会津戦争へと展開した折には、奥羽越列藩同盟設立に向け、東北諸藩の間を奔走しました。会津戦争終了後は、高田藩に幽閉されますが、明治3年に赦免された後、京都中学校の教員に迎えられる。さらにその才覚を買われて明治政府に招聘され、当時の文部科学省に出仕し、明治初期の歴史と地理の教科書の編纂を行います。晩年は現



在の筑波大学、お茶の水女子大学、東京大学の教授を歴任し、日本の高等教育に大きく貢献しました。

明治42年（1909年）、南摩はその生涯を終え、現在は妻竹子と共に、東京日暮里にある谷中霊園に眠っています。

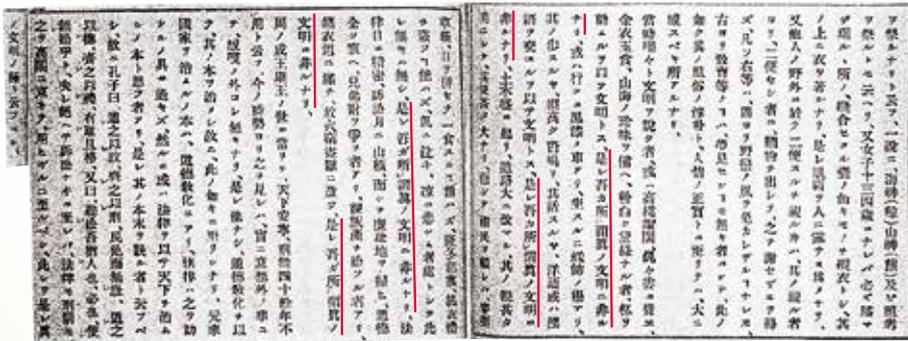


写真2 文明開化を痛烈に批判した南摩のコラム『文明の説』

文明開化に沸く明治時代に、当時の文明のあり方を痛烈に批判したコラム。文明に浮かれる前にアイヌの人としての正しさを見習うことを訴えています。コラム後段で繰り返される「是れ吾が所謂真の文明に非ざるなり」の言葉は、とりわけ格調高く印象に残る一節です。

玄関先の除雪をお願いします



除雪作業では、玄関や道路の出入り口に雪が残ってしまう場合があります。各ご家庭の皆さまのご協力をお願いします。

道路に雪を出したり物を置かないようにしてください



除雪した後に道路へ雪を出すと、道路が凸凹になったり道幅が狭くなります。雪を捨てる時は、町指定の雪捨て場に運んでください。

路上駐車はやめましょう



路上駐車は除雪の妨げとなるだけでなく、火災や救急などの非常時は人命にも関わりますので、絶対にやめてください。

暴風雪のときは除雪に時間がかかります



暴風雪などの悪天候の際は、天候回復まで除雪を見合わせる場合があります。

屋根からの落雪に注意しましょう



屋根からの落雪による事故には、十分に気を付けてください。特に雪下ろしには注意が必要です。

除雪へのご理解とご協力をお願いします

～国道・道道の通行止め情報はこちら～
根北峠などのカメラ画像も見られます

北海道 道路情報

検索



ケータイ・スマホからはこちら

URL : <http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp>

町道の除雪に関するお問い合わせは、
建設水道課 土木担当
☎82-2131 (内線225)

気象予報士による防災お天気講座

Vol.22 暴風雪に備えましょう

これから暴風雪が発生しやすい季節となります。特に車で外出される方は、暴風雪に対する備えについて再度確認してください。

◎ あらかじめ、**暴風雪が予想される時は極力外出を控え**、テレビ、ラジオ、防災行政無線などからの気象情報に注意してください。

◎ (国研)土木研究所 寒地土木研究所では、24時間先までの吹雪の視界情報を公開しています。

※アクセスの際は、インターネットで「北の道ナビ」、
または <http://northern-road.jp/navi/> で検索。



◎ どうしても車で外出する際は、十分な燃料を入れておき、携帯電話を必ず携行の上、**防寒着、毛布、長靴、スコップ、けん引ロープ、携帯電話充電器、懐中電灯**などを備えておきましょう。

◎ 暴風雪により運転に危険を感じたら、無理をせず道の駅やガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどで天気の回復を待ちましょう。

◎ 吹きだまりで車が立ち往生し、自力（レッカー車の手配など）での脱出が困難な場合は、速やかに下記のいずれかへ連絡し、できるだけエンジンを止め救助を待ってください。
エンジンをかける場合は、マフラーが埋まらないよう頻繁に除雪を行い、風上側の窓を少しだけ開けて換気を行ってください。

★ やむを得ず車で外出するときは

● 天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



【救助要請先】 役場住民生活課または建設水道課 ☎82-2131

警察署 ☎110

消防署 ☎119

釧路建設管理部中標津出張所 ☎0153-72-3213

釧路開発建設部中標津道路事務所 ☎0153-72-3221

ご質問は… 住民生活課 防災担当 ☎82-2131 (内線126)

◆◆日本脳炎ワクチンを受けましょう◆◆

■ 日本脳炎とはどんな病気ですか？

日本脳炎は、日本脳炎ウイルスが脳や脊髄に感染して発症し、高熱、頭痛、おう吐、けいれん、意識障害などの症状が出ます。ウイルスに感染しても脳炎にならない人がほとんどですが、日本では過去10年間に56人が発症し、3人が亡くなっています。

日本脳炎ウイルスは、普段は豚などの動物の体内で増え、その動物の血を吸った蚊（コガタアカイエカ）が人を刺すことによって、人にも感染します。

■ 日本脳炎の予防接種は何歳で受けるのですか？

日本脳炎の予防接種は、通常は3歳で2回、4歳で1回、9歳で1回の合計4回受けます。

北海道は平成28年3月まで定期の予防接種を行っていないことから、これ以外の年齢の方にも接種が勧奨されています。

予防接種の副反応により予防接種を差し控えていた時期があり、全国でも予防接種を受けられなかった方もいます。その方のための特例制度で、20歳になるまでの間に予防接種が受けられます。

■ 標津町では今年度、次の方々に接種を案内しています

- ① 3歳以上4歳未満
- ② 6歳以上7歳未満（就学前の年長児）
- ③ 9歳以上10歳未満
- ④ 18歳（高校3年生年代）

※上記年齢以外の20歳未満の方も接種が可能ですので、希望される場合は下記問合先へご相談ください。

※特例制度として、平成19年4月1日以前に生まれた方は、20歳になるまで定期予防接種を受けることができます。

■ 接種ができる機関

- ① 保健福祉センターひまわり
- ② 中標津こどもクリニック

両機関とも接種日時が決まっており、接種前に予約が必要です。

料金は他の定期予防接種と同様、町からの助成により**無料**となります。

接種の際は、母子健康手帳を持参してください。

問合先 保健福祉センター 管理・保健予防担当 ☎82-1515 (内線514)

健康 いちばん

標津町総合体育館
☎ 82-3112

スポーツは心のビタミン



《要注意!》 冬は脂肪がたまりやすい!

冬は寒さや雪のため歩きにくく、外出の機会がグーンと減り、外出する時は夏場よりも車での移動が多くなります。

また、クリスマスやお正月と年中行事により飲食の機会がグーンと増え、体に多くの栄養を脂肪として蓄えてしまったことがある方も多いのではないのでしょうか?

さて、蓄えられた脂肪を燃焼させるには、「有酸素運動」が最も効果的です。

より効果的に脂肪を燃焼させるには、有酸素運動前に筋力トレーニングを行うと良いといわれています。

運動する時のエネルギー消費は、初めは筋肉や肝臓に蓄えられているグリコーゲンという物質をエネルギーにします。運動をし続けると、次に脂肪をエネルギーとして使います。

つまり、筋力トレーニングを行うことで、有酸素運動だけを行うよりも、短い時間で脂肪を効率良く使って運動することになり、脂肪がより効果的に燃焼されます。

また、ウォーキングやジョギングの30分前に「加熱しようが(しよが湯など)」をとると、エネルギー代謝を高め、より高い効果が得られます。

冬こそ健康・体力づくりを

この時期は、外で歩くには雪が多く、また、凹凸・ツルツルで非常に歩きづらくなっています。

さまざまな場所や方法で運動を行い、自身の健康のために、少しずつ無理のないように運動をしましょう。

【総合体育館を利用して】

アリーナやランニングコース、階段を使って、ウォーキングや軽いジョギングを行いましょう。

※ウォーキングは、20分以上をめどにしましょう。

【トレーニングルームを利用して】

ランニングマシンやエアロバイクなど、全6台の有酸素マシンを利用して行いましょう。

【スノーシューを履いて】

昔の「かんじき」のようなもので、かかどが固定されておらず、スパイクも付いています。

深い雪の中やちよつとした斜面、氷の上も歩くことができます。



ストックを使つと、行動範囲がさらに広がります。

【ノルディックポールを利用して】

ポールを持ってウォーキングすることで、ポールを持たない時と比べ上半身も使うので、運動効果が上がります。

また、冬道でのウォーキングの安全対策(転倒予防)にも役立ちます。

◆無料で貸し出し中

当館では、スノーシュー(ポール付き)30組とノルディックポール40組を、無料で貸し出していますので、お気軽にお問い合わせください。

◆トレーニングルームのご利用を

当館には、有酸素系マシン5台、エアロバイク1台、乗馬2台、コンビネーションウエイト、フリーウエイトなどがあり、自分に合ったトレーニングができます。

冬期間は、月々土曜日が午後10時まで、日曜日は午後5時まで利用できます。

また毎月1回、体組成計からだチェックデーを午前10時から午後6時の2回、実施していますので、健康管理のために測ってみませんか?
年度内は、1月16日(火)、2月20日(火)、3月13日(火)に開催します。



体組成計測定カード



2018年国民年金に

いっそうのご理解をお願いします！

国民年金は、働く世代が保険料を納め、年金を受ける方を支える「世代と世代の支え合い」の仕組みとなっています。そして、原則として65歳に達したときは「**老齢基礎年金**」、病气やけがで障がいが残ったときは「**障害基礎年金**」、家族の働き手が亡くなったときは「**遺族基礎年金**」などを支給し、経済的な支えを行うことを目的とした制度です（保険料に未納があると支給されないことがあります）。

「**老齢基礎年金**」は、生きていく限り受け取ることのできる、一生涯の保障であり、日本人の平均寿命が80歳を越えている中、生涯支給される国民年金は、老後の生活の大切な支えとなっています。

少子高齢化が急速に進み、年金制度への関心がますます高まりつつあります。自分や家族の年金、老後について、今一度考えてみませんか。

◆本町の平成28年度保険料納付・年金受給状況

- ・国民年金保険料納付額 1億3,168万2,330円
- ・年金受給状況〔年金受給者〕 2,890人（国民年金1,591人・厚生年金1,298人・船員保険1人）
〔年金受給額〕 16億7,899万2,984円

◆本町の被保険者数（平成29年10月末現在）

- ・国民年金加入者 1,303人（1号：1,002人・任意加入：9人・3号：292人）

【年金相談は完全予約制です！】

毎月、中標津町役場で開設される「年金出張相談所」を利用される方は、相談日の10日前までに予約が必要です。

予約申込先 釧路年金事務所
お客様相談室 ☎0154-61-6000

2月の年金出張相談所開設日

日時：6日(火)13時～16時30分

7日(水)9時～13時30分

場所：中標津町役場

ご本人や配偶者の年金記号番号、加入期間などを調べてお出かけください。

★相談・お問い合わせはお気軽に住民生活課国民年金担当まで

1月のごみ収集日

※2月初回の収集日も掲載しています。

一般廃棄物収集区域 (有料)	可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ	資源ごみA 空缶・ペット、トレー、 発泡・容器包装(プラ)・ びん・新聞・雑誌	資源ごみB 空缶・ペット・トレー・ 発泡・容器包装(プラ)・ 容器包装(紙)・紙・バック・ 段ボール
若草町・新川上町・川上町・栄町 緑町・曙町・弥栄町・伊茶仁	月・木	18日(木) 2月1日(木)	15日(月) 29日(月) 2月15日(木)	11日(木) 22日(月) 2月5日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町 桜木町・住吉町・東浜町・茶志骨	火・金	19日(金) 2月2日(金)	16日(火) 30日(火) 2月13日(火)	9日(火) 23日(火) 2月6日(火)
川北全域・北標津・西北標津・忠類 古多糠全域・浜古多糠・薫別・崎無異	水・土	20日(土) 2月3日(土)	17日(水) 31日(水) 2月14日(水)	10日(水) 24日(水) 2月7日(水)

※粗大ごみの収集は収集の前日までに事前の申し込みが必要です。

★粗大ごみの申込先は、渡邊清掃(株) ☎0120-79-3106まで。

2月の汲み取り実施地域

汲取月は各地区3カ月ごとに年4回設定しています。

便槽が満杯にならなくても汲取月には必ず汲み取っておくなど、余裕を持ってお申し込みください。

実施地域 伊茶仁、浜古多糠、崎無異、忠類、薫別

申込期限 1月25日(木)

申込先 渡邊清掃(株) ☎0120-79-3106
☎0153-82-2220



町長の動静

(11月21日～12月20日)

- 【11月22日】中標津町
根室中標津空港ビル株式会社
第116回取締役会
 - 【11月25日】中標津町
自衛隊帯広地方協力本部中標津地
域事務所開所40周年記念祝賀会
 - 【11月28日】東京都
北海道酪農振興町村長会議中央
要請活動ほか
 - 【11月29日】東京都
全国町村長大会
 - 【11月30日】東京都
北海道自衛隊駐屯地等連絡
協議会中央要望
 - 【12月1日】東京都
北方領土返還要求中央アピール行動
 - 【12月4日～5日】札幌市
北海道町村会理事会ほか
 - 【12月7日】
標津町表彰式
 - 【12月8日】中標津町
根室北部衛生組合議会定例会ほか
 - 【12月9日】
標津漁業協同組合地方卸売市場
買受人組合第56回定期総会
 - 【12月13日】
第4回標津町議会定例会
 - 【12月18日】
第2回武佐岳地域地熱開発調査
検討委員会
- <以上、主なもの>

福祉

町外への通院交通費を助成します

町では、重度障がいや特定疾患(難病)、小児慢性特定疾病などで医療費受給者証の交付を受けている方を対象に平成29年1～12月における町外の医療機関への通院に要した交通費の一部を助成しています。

また、上記対象者の通院に際し、1人の介護者または同行者の交通費も助成対象となります(医師が必要と認める証明書の提出が必要です)。

助成を希望される方は、申請が必要です。

詳しくは、下記問合先へご連絡ください(所得制限などの資格に要件があります)。

申請期限 2月23日(金)

問合先

保健福祉センターひまわり
社会福祉担当
☎82-1515(内線542)

雇用

「通年雇用化意識啓発セミナー」を開催します

根室管内4町通年雇用促進協議会では、季節労働者の方を対象に以下のとおりセミナーを開催します。

日程

1月16日(火)
13時30分～15時30分

講師

八木森 敏男氏
(合同会社札幌エール 講師)

開催場所

中標津経済センター2階

内容

キャリア支援セミナー
「やりがいのある仕事で充実した生活を見つけよう」
※終了後、個別相談可

定員 30人

※前日までに申し込み

問合先

根室管内4町通年雇用促進協議会
☎0153-72-6789

スポーツ

1月のスポーツ

9日(火)、11日(木)、15日(月)、17日(水)
スケート教室
[13時～ 町営リンク]

15日(月)
大菅小百合スケート講習会
[9時30分～ 町営リンク]

16日(火)
体組成計からだチェックデー
[10時～、18時～ 総合体育館]

20日(土)
第14回道東小中学生距離別スケート選手権大会
[9時～ 町営リンク]

22日(月)、29日(月)
スポーツ体験教室
[16時～ 総合体育館]

28日(日)
第14回標津オープン卓球フェスティバル
[9時～ 総合体育館]

31日(水)
スケート記録会
[16時～ 町営リンク]
<以上、主な大会、教室など>

北海道電力からのお願い

- この冬も引き続き「無理のない範囲での節電」にご協力をお願いします。
- 詳しくは、ほくでんホームページをご覧ください。



北方領土に関する標語・キャッチコピー
平成29年度最優秀賞
声届け 開けよう扉 四島(しま)返還

☆☆☆ 郷土(標津町)の活性化を 町民の力で ☆☆☆
まちが変わります。 変えましょう!!

地元で買おう 地元を使おう
地元で食べよう
「地産地消」の心で!!

生き生き標高郷土の標・地域で育てる
標津高校
標高の存続は町民みんなの願い!!

あけましておめでとうございます

今年も標津漁協製品を
よろしくお願い致します。



標津漁業協同組合 直売所
お問い合わせ TEL 0153-82-2035

法人向け保険のご案内!

- ・企業経営資金対策プラン
- ・退職慰労金対策
- ・事業承継・相続対策にお役立てください



損害保険トータルプランナー
遠藤損害保険事務所

代表 遠藤 幸男<標津町南3条西2丁目>
Tel:0153-82-3330
Mail:yukioend@mint.ocn.ne.jp
URL(<http://nttbj.itp.ne.jp/0153823330/index.html>)



第2期生募集 4月開講 **Gakken × A7teC** ロボットプログラミング講座
もののしくみ研究室
ロボットプログラミング講座

もので遊ぶだけの人からものを生み出す人へ

無料体験会を実施します!!(予約受付開始)

2/3(土)・2/17(土) 18:15～19:45

2/10(土)・2/24(土) 10:00～11:30

※実際に簡単なロボットを組み立て、プログラミングして動かします。

対象:新小3～新中1 定員:各時間帯親子3組。



無料体験学習

期間 1月 教科 算(数)・国・英の3教科

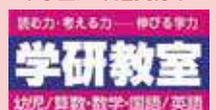
対象 幼児・小学生 内容 3回の教室学習と家庭学習
中学生 学力診断テスト含む

※北海道学力コンクール・算数数学検定実施校
詳しくは下記までお問合せください。 ※学研共通テスト(小・中学生)申込受付中!!

学研しべつ教室

指導者:白土 恵 標津町南2条東1丁目1-21

TEL: 0153-85-7021 / 090-7517-7411



入浴中の事故にご注意ください!

冬は、入浴中の事故が増える傾向にあります。寒い時期は脱衣室や浴室、お湯の温度差が大きく、入浴による血圧の乱高下で心臓や血管に大きな負担がかかります。

例えば、冷えた浴室に入ると、血管が収縮し血圧は急激に上昇しますが、お湯に浸かり体が温まってくると、血管が拡張し血圧は下降していきます。このような血圧の乱高下が、脳卒中や心筋梗塞などの危険性を高めます。また、多量の発汗で脱水症状を引き起こすと、血液の粘り気が増し、同様の症状となる恐れがあります。そのほか、長時間の入浴は、のぼせて転倒し負傷する原因にもなります。

《事故を防ぐため、次のことに注意しましょう》

- ・体調が悪い時は、入浴を控える
- ・高温での入浴はしない
- ・脱衣室や浴室を暖めておく
- ・長時間の入浴は控える
- ・入浴後、浴槽から急に立ち上がらない
- ・飲酒後の入浴は避ける
- ・体の不自由な方や高齢者の入浴は、家族が定期的に声をかける

— 標津消防署 —

標津サーモン科学館「お正月特別開館」

冬期間、休館しているサーモン科学館が、三が日限定で、今年も「お正月特別開館」します。

正月限定の装飾や展示を用意しています。初日の出・初詣の際に、ぜひお立ち寄りください。

特別開館日時

1月1日 9時～15時

1月2日、3日 10時～15時 ※入館は14時30分まで

イベント内容

○お正月期間限定展示

酒升を使って、サケの仔魚を展示します!

○ハズレなし!「新春福引き」

標津の海の幸や当館オリジナルグッズなど、もれなく「何か」が当たります!

○先着50人に「サケお守り」

当館オリジナルのお守りをプレゼントします

○大漁サケおみくじ

何が出るかな? 当館オリジナルおみくじ!

○チョウザメ体験証明書が、お正月限定バージョンに!

この機会にぜひ挑戦しませんか?



※現在館内およびサーモンハウス横トイレの改修工事を行っています(仮設トイレを設置しています)。あらかじめご了承ください。

問 合 先 サーマン科学館 ☎82-1141

ふるさと応援寄付金をいただき、ありがとうございました

出葉 義治さん (東京都品川区)	市川 齊さん (愛知県扶桑町)
松川 隆さん (沖縄県宜野湾市)	松永 明子さん (愛知県名古屋)
大高 友一さん (大阪府枚方市)	長谷川 貢三郎さん (東京都台東区)
河本 祐一さん (京都府京都市)	須栗 一浩さん (神奈川県川崎市)
廣瀬 朗人さん (埼玉県川口市)	松戸 正幸さん (千葉県千葉市)
佐々木 良さん (東京都品川区)	橋口 俊洋さん (福岡県久留米市)
崎川 修さん (東京都多摩市)	品田 正一さん (千葉県茂原市)
安里 安隆さん (埼玉県上尾市)	大野 好則さん (神奈川県横浜市)
須田 誠一さん (札幌市)	正田 勝己さん (埼玉県川口市)

※ご本人の了承を得て掲載しています。その他1,824件の寄付をいただいています。

寄付金はその目的を達成するために有効に活用させていただきます。

戸籍の窓口から

(11月11日～12月10日届け出分)

ご結婚おめでとう!

滝本 凌平さん・高橋 初綺さん (桜ヶ丘町)
 太田 亮平さん・和田 さやかさん (鳩ヶ丘町)
 小田 桐拓矢さん・龍田 美幸さん (弥栄町)

お誕生おめでとう!

荒谷 琉斗くん (双葉町) 勇介・恵美
 本多 桜ちゃん (若草町) 史明・優里香
 田村 優来ちゃん (崎無異) 正人・沙織
 大石 乃風ちゃん (茶志骨) 卓哉・育身
 西山 なのちゃん (望ヶ丘町) 宗告・ひとみ
 佐藤 楓梨ちゃん (桜ヶ丘町) 大樹・望

おくやみ申し上げます

若尾 周也さん (新川上町) 79歳
 谷内 榮さん (伊茶仁) 87歳
 堀 まつ子さん (川上町) 99歳
 小野 廣さん (共栄旭町) 73歳
 細畑 妙子さん (伊茶仁) 81歳

※ご家族の了承を得て掲載しています。

寄付・寄贈ありがとうございました

(11月11日～12月10日受納分)

●町に——

○北方領土返還要求群馬県推進連絡協議会さま

●標津病院に——

○熊谷 ミヨさん

●社会福祉協議会に——

○谷内 貞子さん ○林 誠一さん
 ○標津さけ定置漁業部会役員一同さま
 ○標津町商工会女性部さま
 ○北海道コカ・コーラボトリング(株)さま

●はまなす苑に——

○林 裕子さん ○若尾 政子さん
 ○小野トクエさん ○澤口 悟さん
 ○山口 久子さん ○大石 正則さん
 ○川島 順子さん ○澤向 秀子さん
 ○田中 憲司さん
 ○目黒 章哲さん (神奈川県横須賀市)
 ○田中牧場さま ○あざみ会さま
 ○理容こばやしさま
 ○JA女性部あやとりの会さま
 ※ご本人・団体の了承を得て掲載しています。

「まちづくり出前講座」をご利用ください!

町民の方が5人以上集まる機会であれば、町長が出向き、町政についての説明や質問にお答えする「まちづくり出前講座」を開設しています。

詳しい内容やお申し込みは総務課まで。

(事前の申し込みが必要です)

募 集

平成29年度自衛官を募集します

募集種目・対象者

陸上・海上・航空
自衛官候補生(男子・女子)
18歳以上27歳未満

募集締切 2月14日(水)

試験会場・試験期日

釧路駐屯地 2月17日(土)
美幌駐屯地 2月17日(土)
帯広駐屯地 2月18日(日)

申込・問合せ先

自衛隊帯広地方協力本部
中標津地域事務所
☎0153-72-0120

税 務

給与支払報告書など関係書類の提出を忘れずに

平成29年分の給与所得にかかる給与支払報告書および償却資産申告書などの提出先、期限は次のとおりです。

提出書類の提出先

◆給与支払報告書・総括票、償却資産申告書
→役場税務課
※給与支払報告書は、支払額の多少に関わらず全ての受給者分を提出する必要があります。

◆法定調書・合計表

→根室税務署
※給与支払報告書などの提出は、eLTAX(電子申告)の積極的な活用をお願いします。

提出期限 1月31日(水)

問合せ先

税務課 (内線108・119)

水 道

水道凍結にご注意ください

寒さが一段と厳しくなり、水道凍結が心配される時期となりました。お出かけの際や就寝前には水を落とすなど、水道の凍結に十分注意しましょう。

もし凍ってしまった時は、蛇口にタオルや布を巻いて熱湯をゆっくりかけてください。

それでも水が出ない場合は、次の各修理店へご連絡ください。

水道管凍結修理店

出口設備(有) ☎82-2479
株渡部設備 ☎82-2722
株木クショウ設備 ☎85-2552
奥商会 ☎85-2021

交 通

ご存じですか?自動車事故被害者への支援制度

自動車事故対策機構では、自動車(バイク含む)事故による重度後遺障害により介護を要する方へ、後遺障害の程度などに応じて介護料を支給します。

また、交通遺児に対する育成資金の無利子貸し付けなども行っています。

詳しくは、下記問合先へご連絡ください。

問合せ先

自動車事故対策機構釧路支所
☎0154-51-7337

緊急通報

緊急通報は110番 相談電話は#9110に!

110番は、事件・事故などが発生した場合に警察へ緊急通報するための電話です。

電話する際は、慌てず落ち着いて正しく答え、警察官が早く現場に到着できるよう、その場所の住所や付近の目印になる建物などを正しく伝えてください。また、乗車中に携帯電話で110番する場合は、必ず安全な場所に停車してから通報しましょう。

急を要しない相談などは、警察相談電話『#9110』または最寄りの警察署、駐在所へご連絡ください。

問合せ先

中標津警察署
☎0153-72-0110

環 境

FRP船の廃船をお考えの皆様さまへ

北海道地区廃船処理協議会では、廃FRP船のリサイクルに取り組んでいます。

廃FRP船の廃船は、セメント原料・燃料として再利用されます。FRP船の廃船をお考えの方は、下記へご相談ください。

問合せ先

FRPリサイクルセンター
☎03-5542-1202

【今月の納期一覧】

●1月31日(水)
第7期後期高齢者医療保険料
第8期国民健康保険税

保 健

季節性インフルエンザの予防を心がけましょう

例年、冬期間からインフルエンザの流行がはじまります。症状は、急な発熱・咳・鼻水・全身のだるさ・筋肉痛などです。インフルエンザの予防対策として、次の点に気を付けましょう。

- ①外出するときは、マスクを着用する
- ②外出先から帰ったらうがいと手洗いをする
- ③室温を20℃、湿度を60%程度に保つ
- ④しっかり休養し、疲れを残さないようにする
- ⑤栄養バランスの取れた食事を取る
- ⑥適度に運動し、抵抗力を保つ
- ⑦できるだけ人混みを避ける
- ⑧予防接種をする

また、症状のある人はマスクを正しく着用し、咳・くしゃみをする時は、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他人への感染予防に努めましょう。

問合せ先

保健福祉センター管理・保健予防担当
☎82-1515 (内線511・514)

乳幼児健康相談日程



1月25日(木)

会場：ひまわり

12~13カ月 2歳	9時~10時
4カ月 6~7カ月 9~10カ月	13時30分 ~14時30分

問合せ先

保健福祉センターひまわり
☎82-1515

1月の精神保健福祉遠隔相談日程

中標津保健所では、毎月このころの問題でお悩みの方を対象とした、精神科医師によるテレビ電話での遠隔相談を開設しています。相談は完全予約制となります。

日 時

1月24日(水)
13時30分~16時30分

場 所

中標津保健所

予約先

中標津保健所健康推進課
☎0153-72-2168

※保健師による相談は、随時受け付けしています。

まちの声

376

縁ある標津での暮らし

やまぐち なおき
山口 直樹 さん (桜ヶ丘町)
川北小学校



教頭昇任で、釧路より川北小に着任して早一年。本校は、地域の教育に対する熱意に支えられ、多大なご支援をいただいている。中でも、川北連合町内会長の西田正夫さんは、農園活動や神社祭、盆踊りと大変お世話になっている。まだ、関わりを持ち始めて間もないころ、こんな会話をし

た。「教頭さんはどこの出身?」「青森のおつです。」「むつかあ、標津はかつて大畑と姉妹都市を結んでいたんだよ。」「私、大畑で生まれたんですよ!」私は、昭和四十九年、青森県下北郡大畑町に生まれ、七歳までそこで過ごした後、隣のむつ市に引っ越した。北海道に教員採用後、出身を聞かれると大畑のことは誰も知らないだろうと思ひ、むつ市と言ってきた。まさか、相手から大畑という言葉が出るとは夢にも思わなかった。

これを機に、姉妹都市について文献を紐解くと、昭和五十四年、標津町と大畑町は姉妹都市の調印式を行った。友好関係締結に至ったのは、標津の初代戸長(行政の責任者) 横宗説氏の出身地が大畑町であったことに由来する。平成十七年に大畑町がむつ市と合併するまでその関係は続いた。標津はサーモン、大畑はイカ、獲れるものは違えど、浜独特の雰囲気は似ている。以前、ある会合で標津の方が話す言葉の抑揚が、幼いころに親しんだものと同じであり、しみじみ聞き入った。友好関係を築いた間、多くの人が往来した証左と言えよう。きっと、大畑に縁のある方が暮らしているに違いない。

次「まちの声」は齋藤 学さん(鳩ヶ丘町)です。



人のうごき

■平成29年12月1日現在 (前月比)【前年同月比】

人口	5,302人(0人)	【-30人】
男	2,608人(- 7人)	【-24人】
女	2,694人(7人)	【- 6人】
世帯数	2,341世帯(- 6世帯)	【- 3世帯】

人口前月比の内訳

	増	減	比較
転入	3人	転出 6人	-3人
出生	7人	死亡 5人	2人
その他	1人	その他 0人	1人
計	11人	計 11人	0人

標津町民憲章

(昭和46年11月3日制定)

- 健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
- 自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
- たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
- 心を豊かにし文化を高めましょう。
- 子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

2月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

- 日時 2月6日(火) 13時30分~
- 場所 川北生涯学習センター
- 問合せ 住民生活課

町内の交通事故

■平成29年11月1日~11月30日 (本年の累計)

人身事故	1件(2件)
負傷者	1件(3件)
死亡者	0件(0件)
物損事故	15件(110件)

▽紙面の都合で掲載できませんでしたが、今年も北方領土返還要求中央アピール行動が、12/1、根室管内1市4町で構成される北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会主催により、東京都で行われました。元島民関係者や根室管内からの参加者を中心に、約500人が銀座を練り歩き、早期返還への思いを力強く沿道へ呼び掛けました。▽広報の業務に携わって早1年半。ついに「マイカメラ」を買ってしまいました。仕事以外でもカメラを持つ機会が増えそうです。仕事でも私事でも、見かけた際は、ぜひ声を掛けてください。(〇)